



◀ 会議録はこちらから

## 一般質問



徳島 純次 議員

### 空き家対策について

①市内空き家データベース構築において、業者が行う現地調査はどの様に行われるか。行政区等を活用してはどうか。②市外在住者の空き家の流動化・活用の促進、適正管理の促進について。③市外在住者等の支援策としてふるさと納税の返礼品として空き家管理サービスがあるが、利用者が0件、見解と今後の対策は④管理不全の空き家において緊急性の問題が発生した時に市が対応できるように飛騨市特定空き家等対策条例に明記するとあるがどこまでの範囲か、いつ制定するのか

**答 弁** ①1次調査で業者により外観目視、結果を市へ提出、市ではその結果をもとに行政区等へ確認依頼を行う。その結果を整理し再度現地調査を行う。行政区等に現地調査を依頼すると相当の負担がかかる。また、現地調査は一定の観点から

の判断も必要となる。今後も継続的に空き家情報の更新、地図情報の更新を行う必要があることから、専用システムによる効率的管理が望ましく、外部委託による業務実施が適当である。②③市では空き家バンク制度の住むとこネット、空き家等賃貸住宅改修事業補助金、空き家家財道具処分費等補助金、住宅新築・購入支援助成金、空家除却補助金の支援制度やシルバー人材センターが行う空き家等管理業務がある。総括的に紹介・案内が、現時点では対応できていない。市ホームページで空き家等に関する支援制度の専用ページを早急に作成する。ふるさと納税の返礼品としての空き家維持管理サービスは、空き家に関する支援制度の周知を強化する中で利用を促進していく④第二次空き家等対策定計画に具体的な空き家対策の一つとして市条例への即時対応、緊急安全措置の明文化ということに記載しております。条例改正を年内の議会に上程できるように、準備を進めたいと考えている。

YouTube ▶



野村 勝憲 議員

### 教育と働き方改革について

私は5月にデータセンター・教育・大学経営について経産省や8自治体と私立大学を訪問し、南砺・下呂市から得た知見を参考に①小中学校にチーム担任制の導入②中学校の下校時間を早め教員の勤務時間を減らしたら。

**答 弁** 教員がチーム指導する事は平等性と選択肢が増え、メリットが大きいと考え実情に応じ検討。②教職員の時間減少やライフワークの充実につながり、さらに改善できないか検討する。

### 仮称 CoIU と古川駅東開発について

視察した単科大学は定員の半分しか受験せず、少子化時代大学経営は厳しい中①何故、市長は大学の評議員を辞め、文科省申請は仮称のまま？②市民から悪評のアンケート1Pに大学設立基金と関連自治

体と明記。相談は？③若宮駐車場利活用に市民アンケートを④大学設立事業70億円目処は？

**答 弁** ①大学を監督する立場に就くことは適切でないと判断。仮称のままで②内容の相談はなし③アンケートはやらない④飛騨市はホームページで64億円を寄付金として募集している。

### コロナ感染した首長の対応と対策は

①古田知事は多人数の会食は避け、自制をお願いされたのに神岡で10人が会食し、市長含む8人の集団感染。七宗町長は職員の会食感染で減給処分。ご本人が感染された高山市長は「市民の安心安全を守るべき立場のものがこの様な事態となり痛恨の極み」とお詫びの言葉。都竹市長は？②影響を受けている飲食店への対策は？

**答 弁** ①事実を伝えることが首長の義務で、私は市民にお詫びはしません。②様々な場面で気軽に検査できる体制づくりに取り組んでいる。

YouTube ▶





住田 清美 議員

物価高騰対策について

①物価高に対する市民の声を把握しているか②救済策について③給食対応について

**答 弁** コロナ対策本部会議の中や情報共有会議で、生活防衛に努めている市民の姿を把握している。対策としては「市民生活の支援」として国の低所得者への支援や、市独自としてプレミアム商品券発行、いきいき券の追加、給食費への高騰分支援等。「事業者への支援」として設備導入等費用補助制度の延伸や、利子補給の拡充、畜産事業者への粗飼料高騰に対する給付金を交付。「経済社会活動の回復」として販売促進活動補助や、秋頃には電子地域通貨を活用したまるごと大売出しも計画。さらにコロナ検査を気軽に受けてもらえる支援も拡充した。市独自施策の予算1億4,700万円については、新型コロナウイルス感染症対応地域

創生臨時交付金を活用する。

新型コロナウイルス対応について

①4回目接種ワクチンのエビデンス②マスク着用③後遺症相談窓口

**答 弁** ①4回目ワクチンは、3回目ワクチン接種とは異なり感染そのものを防ぐ効果は限定的であるが、重症化予防効果は維持されることから、今回、高齢者や基礎疾患のある方を対象にした。②学校におけるマスク着用は引き続き基本的な感染対策であるが、熱中症対策を優先する。③市としては専門知識を持ち合わせていないためまずは医療機関へ受診をされるよう助言している。

ごみの不法投棄やポイ捨て防止について

**答 弁** 不法投棄は犯罪であることを念頭に警察への通報や、パトロール、監視カメラの設置などで抑止を図りたい。

YouTube ▶



籠山 恵美子 議員

ゼロカーボン実現のため、小水力発電でエネルギー自給を

飛騨市は今年3月にゼロカーボンシティ宣言をしている。①第3次環境基本計画の脱炭素の目標値・進捗状況は。②水力発電は民間事業頼みの飛騨市だが、農業用水などを活用した市民型の小水力発電を普及し、エネルギーの「地産地消」で気候変動対策を実現すべきでは。

**答 弁** ①水力や家庭での太陽光などのエネルギーの地産地消、温室効果ガス吸収源対策が計画の柱になっていく。審議会を8月から開催し今年度末までには策定する。②飛騨市は水力発電こそ最も適した再生可能エネルギーと位置づけ開発・推進を図ってきた。用水での小水力発電は冬季の流雪や水路管理の問題があり、効率の良い手段とは言えない。よって今のところは、住宅用太陽光発

電の普及推進を図っていく。

深刻な物価高騰から市民生活と営業を守るために

コロナ禍、ウクライナ情勢で物価高が激しい。市は国からのコロナ対策臨時交付金3.4億円ですっかり市民を支えていただきたい。

- ①生活困窮者に水道料金の減免を
- ②今こそ学校給食の無償と就学援助基準引き上げを
- ③インボイス制度に苦しむ事業者に救済の手を

**答 弁** ①水道は企業会計で独立採算なので原則は実施しない。②無償化は政策的に粗いとりくみであり、その考えは持っていない。食材高騰分は公費負担する。③市長会、商工団体ともに制度導入前提で要望を挙げている状況。今後も状況把握に努める。

YouTube ▶





◀ 会議録はこちらから

一般質問



前川 文博 議員

### 飛騨市の電力事情は

市が北陸電力エリアで契約している新電力「ホープエナジー」が3月に破綻した。中部電力エリアは中部電力との契約であるが、その契約も令和5年3月で終了する。①入札によってどれだけの削減効果があったのか。また、破綻によって増える電気料の予測は。②新電力が破綻する前に情報はなかったのか。③令和5年度以降の電力契約先は。

**答 弁** ①削減額は、令和元年度4,700万円、2年度6,600万円、3年度3,700万円ほど。令和4年度は3,500万円の増加になる見込み。

②情報収集は行っていた。電力の供給状況に問題なく、電力の単価も変更がない状況であえて変更する必要はなかった。

③令和5年度以降は、旧一般電気事業者(中電

や北電)と契約することが安定供給、価格変動への対応として最善と考える。

### 広葉樹のまちづくりについて

①市役所ロビーの記載台などのコンセプトは②記載台などの購入金額は③この取組で木材価格はどれだけ高まったのか

**答 弁** ①飛騨市広葉樹活用推進コンソーシアムの構成員が木材調達から加工・企画・設計・製作を担当。広葉樹の新しい可能性を示すために企画したもの。

②製作は通称ヒダクマの調整で木材調達から加工、取付に至るまですべて市内業者。金額は149万4,900円。ヒダクマとの随意契約。

③コンソーシアムが、伐採後の木材の価格がどれだけ高まるか検証。3.7haから593㎡の広葉樹を伐採搬出。木材売上価格は60万円程度増加した。

YouTube ▶



上ヶ吹 豊孝 議員

### 飛騨市の新電力供給停止に関する取組について

電力会社から一方的に市へ電力供給停止の知らせが届き現在は、最終保障契約先の電力会社と契約を結んでいる。しかし、来年2月28日以降の電力契約を結べる見込みがない①最終保障契約の電気料金の増額分は②電気料金の高騰が予測されるが対策は③新規発電システムの導入の考えは④早急に必要な電力確保の方策や考えは⑤電力停止問題について市民の理解と今後の取組は

**答 弁** ①再エネ賦課金は昨年実績、1年間で約37万円上昇、燃料調整費は5月実績で前年比約6円上昇、下落もあるため金額提示は困難。②休館やテレワーク等は、市民生活への影響があるので十分検討する。③現段階では、まだ普及の段階ではない、今後の技術発展や量産化を注視するが、現状得策ではない。④再エネの地産地消は検討し

ているが、多くの問題もある。

⑤家庭での節電や省エネ行動の呼びかけ、分かりやすい形でPRに努める。

### 旧中村邸の保存と考古民俗館の集客について

旧中村邸と考古民俗館は自然環境や景観、地域の歴史を守ることが重要で保存、活用が必要。①茅葺の茅を宮川町で栽培できないか②中村邸を未来永劫守るには③旧中村邸と考古民俗館集客に関して。

**答 弁** ①一時的な耕作放棄地対策ではあるが、今後販路確保が出来なければ、農業として成り立たない②地元の小中学生に旧中村邸の価値の発信を行い、地域の文化財に対する愛着、価値の深まりを持ってもらう。③360号の改修も進み、来館しやすくなる。市職員の配置等検討し開館日数も増やす方向で検討する。様々な工夫を行い何度でも訪れて頂けるよう努力する。

YouTube ▶





井端 浩二 議員

公立中学校の部活動の地域移行について

①地域部活動運営協議会のような運営する事務局が必要ではないか。②部活動の指導者は確保できるのか。③指導者報酬はどうするのか。④合同部活動の状態はどうか。⑤中学校体育大会は今後どうなるのか。

**答 弁** ①運営については、学校がやっていたような指導管理から事務まで全体を統括する事務局が必要と考えている。今後検討していきたい。②現時点では、地域部活動化に向けた指導者を確保できている状態ではない。③適切な報酬を支払う必要があると考える。運営していくための必要経費を確保する上でも、国や県に強く要望していきたい。④サッカー部とソフトボール部は古中と神中野球部は北陵中と合同で活動している。今後の課題としては、移動手段と移動時間である。⑤国や県の施策、中学

校体育連盟や各競技連盟の動きを注視しながら具体的なことはこちらから詰めていく。

一人暮らし高齢者と民生児童委員について

①一人暮らし高齢者はどれくらいみえるのか。②一人暮らし高齢者を近所の住民で見守ることが出来ないか。③民生児童委員を区や町内の役員にすることが出来ないか。

**答 弁** ①6月1日現在の住民基本台帳では一人暮らしの65歳以上の方は1,641人で全世帯の18.8%。親族の連絡先については、個別支援プラン等の作成により把握できている。②一人暮らし高齢者や支援が必要な方の見守り体制については、共助として地域の方々の支援が大変重要と考え、個別支援プランを各区と共有している。③委員と自治会との連携がとりやすい地域では、その連携をより一層深めていただけるよう自治会への働きかけや意見交換を行うなど努めていきたい。

YouTube ▶



小笠原 美保子 議員

命を守る防災力について

災害時に大切な命を守るため、市での取り組みは。①これからの避難訓練について。②小・中学校での防災教育の取り組みについて。③飛騨市在住外国人の防災の取り組みについて。④災害時のペットについて。⑤公共施設や電柱等へのハザードマップの見える化について。

**答 弁** ①本来、垂直避難が原則。本年6月の総合防災訓練においては実際に水平避難の訓練を実施。②すべての小中学校で学校安全計画を作成し様々な災害に対し適切に判断して危機回避できるよう教育に取り組んでいる。③技能実習に対し事業主との連携を強化、行政区長にも区で計画を依頼していく。④あくまでも飼い主が管理を行うのが基本であると周知する。⑤水防災にかかわる予想浸水線、避難所位置等を公共施設や電柱等に掲示する国土交通省水管理・国土保全局主管の事業

があり情報収集をしている。

ワクチン接種について

接種は各自の責任で自由な選択をされるべきである。①子供のワクチン接種に対し分かりやすい情報をどのようにお伝えされているのか。②保育園や学校での差別や同調圧力を起こさない学びを。③ワクチン接種後の体調不良の相談窓口についてはどのようにお考えか。

**答 弁** ①保護者から相談があった際には丁寧に説明対応を行っていく。②新型コロナウイルス感染症拡大と向き合いながら互いを大切にすることを学んできた。仲間を大切にすることで誰もが気持ちよく生活できることを確かめ合っている。③ワクチン接種券送付の際、厚生労働省作成の注意事項などの説明書を同封している。万が一接種によって健康被害が生じた場合、予防接種法に基づく救済制度が設けられている。

YouTube ▶





◀ 会議録はこちらから

一般質問



高原 邦子 議員

公共施設のマネジメントを  
どのように考えているのか

コロナの影響で休館・休業をしてきた公共施設。今後の維持管理費、利用状況や存在意義も含めて考慮すべきである。公共施設の総面積の縮減が求められる中、一番多い面積を有するのが学校である。学校施設の利活用も前向きに検討した方がいい。見直し等をする中で住民サービスのために、複合化や多機能化をして、単なる縮小ではなく充実を視野に「縮充」も必要だ。建設時の推進気分だけではいけない。建物のライフサイクルコストを考慮していく姿勢も大切。①総合管理計画の見直しは②施設の点検は素人の職員からプロの外部委託にして包括契約はできないか③教育基本法・学校教育法・消防法・災害救助法等々、法律でも利用等が認められている学校施設をもっと市民の有効活用に開放してはどうか④国が公共施設の総面

積の縮減を求めているが、施設の「縮充」や「廃止」を最終的に決断するのは政治家である市長であるがどうされるのか。

**答 弁** ①計画期間は令和8年度までの10年間であるが、今後の社会情勢や関連計画の変化に柔軟に対応し見直す②施設の点検には法令で点検義務のあるものとそうでないものがある。委託費用も高額となるため費用対効果を見極めて検討する③学校は個人情報も多いので開放には慎重な運用が必要。セキュリティが一番の問題であるが学級数も減り空き教室も増えている実情もあり、地域の交流拠点として引き続き有効活用方法を検討していく。④廃止しなければならない施設も当然ある。市民の利便性を向上させるために、ほかの用途を付け加えて、複合施設化することも考える。それぞれの施設には事情がそれぞれ異なるので検討する時間を要するが、財政負担を考えて順番に検討する。

YouTube ▶



谷口 敬信 議員

古川町ほ場整備事業について

①杉崎地区（玄の子地区）のほ場整備事業の概要について②市街地近郊に点在する農地について③ほ場整備事業完了後の担い手について

**答 弁** ①総面積は41.6ha(16.0ha)、受益面積が32.7h((12.7ha)、期間は令和4年度から令和11年度(令和2年度から令和6年度)まで、総事業費は7億6,700万円(2億9,100万円)の見込みである。担い手数は6農家・3法人(2農家・3法人)の見通しで、年総効果額は約8,500万円(3,000万円)と試算される。②農地については自然的、経済的、社会的諸条件を考慮し、優良農地の保全に努める。③個人・法人を問わず市外の農業者が耕作する事は土地所有者との権利関係が整えば可能であり、認定農業者にもなれる。

今後の農業について

①スマート農業について②脱炭素化社会に向けた農業について

**答 弁** ①導入には2本の柱がある。1本目は農作業に関わる機械の導入で、作業時間の短縮や人手不足の解消等の効果があるもの。例えばドローンを導入した薬剤散布や肥料施肥である。2本目は気象観測装置の導入で水田センサーを設置し水位や水温、地温等のデータが取得できる「ミハラス」があり、今年度14名の申し込みがあった。②3点の取組を考えている。1点目は家畜排せつ物を堆肥化し化学肥料を低減する。2点目は家畜飼料の自給率の向上による輸入飼料の輸送過程で発生するCO2の削減。3点目スマート農業の推進で、ドローンやGPS直進アシスト機能付田植え機の導入で、燃料低減に期待できる。

YouTube ▶





水上 雅廣 議員

国道の通行規制について

国道471号野口地内の洪水による通行規制基準設定の説明会を受け、市は地域住民の思いをどのように受け止め、この先どのように具体に取り組んでいくのか。①規制解消に向けた取り組み。②帰宅困難者への支援。

**答 弁** ①今回の規制はある程度是とした上で、規制解消に向けた対応が一番重要。抜本的な解決のためには河川の水位を下げる必要がある。この後、古川土木事務所長を通じ河川水位を下げるための方策を検討するようしっかりと県にお願いしていく。迂回路については、改めて重要性を念頭においた上で、県への働きかけや補助事業の活用を継続し、危険個所の解消に努める。②突発的な災害を含め孤立や帰宅困難者が発生した場合、その状況に合わせて柔軟に対応する。宿泊を伴うような場合は、市の指定避難施設の開所や

災害時宿泊施設提供協定締結した皆さんに協力いただき安全確保する。

原油価格・物価高騰に対する対応方針について

①市発注の公共事業。②畜産業者への支援。③水道料金の減額に対する市の対応方針は。

**答 弁** ①スライド条項に基づき請負代金の変更協議など適正に対応し、必要に応じて予算の補正も検討する。②畜産農家の経営に深刻な影響が出ることを懸念しており、市内の肉・乳用牛を飼育する農家を対象に粗飼料対策として、基礎額4,500円に飼育頭数、飼育日数、牛の種別に応じた餌の量を乗じた金額を支給することとする。③水道事業の電気料金や資材料金の高騰で、経営の圧迫が懸念され、料金改定した際の経営見直し自体の見直が場合によっては必要となりかねない状況下で料金減額を判断できる状況になりたいことを理解いただきたい。

YouTube ▶



葛谷 寛徳 議員

神岡城の展示装飾等のリニューアルについて

現在の神岡城の展示はコンセプトが明確ではなく神岡にゆかりのないものが展示されているなど、これまで大いに利活用されているとは必ずしも言えないものがある。どのようなコンセプトでリニューアルされるのか伺う。

**答 弁** 現在の神岡城からの眺望は、当時の武将が見た景観を現在も追体験できる場所である。リニューアルにあたっては、現在の展示内容を全面的に刷新し、高原郷の中世以前の歴史を概観しつつ江馬氏や江馬氏の城跡について学べる場所としたいと考えている。約半世紀にわたって続けてきた江馬氏下館跡の調査成果や、国史跡への追加指定を図るべく近年集中的に行っている傘松城跡などの山城の調査成果を余すことなく紹介したい。

新型コロナウイルス後の復活に向けた取り組みについて

新型コロナウイルスと共に生きる生活「新たな日常」を早く戻すためにも、市や民間団体のイベントや交流事業、懇親会などどう進めていくか伺う。

**答 弁** 飲み薬の使用が認められ、ワクチンの国内生産も進む。夏を迎え一定の感染や拡大の可能性もあるが、基本的な感染対策をしっかりと行いながら、各種の行事、イベントなどを開催してゆく。「検査」が今まで以上に重要になってくる。市がこれまで検査体制の推進をコロナ対策の重要な柱と位置づけ、様々な場面に気軽に検査ができる体制を整えてきた。今後もイベントや行事ができるように、基本的な感染対策に加えて、薬局で検査キット購入など事前の検査を活用してほしい。国において、エビデンスに基づいた新たな日常生活のスタイルがどう示されていくか注視したい。

YouTube ▶

